

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
)
Kazuki MATSUI, et al.)
) Group Art Unit: Unassigned
Serial No.: To be assigned)
) Examiner: Unassigned
Filed: December 26, 2000)



#3/Prosp Pgs
g2d/cv
2/07

For: INFORMATION BROADCASTING METHOD AND DEVICE

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

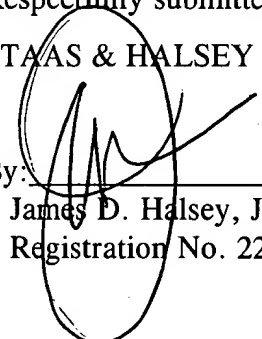
Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicants submit herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-231022
Filed: July 31, 2000.

It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

By: 
James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

Date: December 26, 2000
700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 7月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-231022

出 願 人

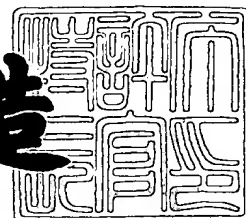
Applicant(s):

富士通株式会社

2000年10月27日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3088567

【書類名】 特許願

【整理番号】 0095173

【提出日】 平成12年 7月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 情報配信方法及び装置

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 松井 一樹

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 神田 陽治

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100094145

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小野 由己男

 【連絡先】 06-355-5355

【選任した代理人】

 【識別番号】 100094167

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 宮川 良夫

【選任した代理人】

 【識別番号】 100106367

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲積 朋子

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 020905

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9807456

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報配信方法及び装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定された人の旅程を参照して、当該日時及び／または場所に関して予め登録されている広告情報または参考情報を、前記特定された人の情報端末に自動的に配信する、情報配信方法。

【請求項 2】

旅行先に関する情報を情報提供サービス装置から旅行者に配信する情報配信方法であって、

前記旅行者の通信アドレスと、旅行者が参加する旅行スケジュールとを情報提供サービス装置に登録させ、

前記旅行スケジュールで訪れる旅行先に関する関連情報及び関連情報を配信するための配信条件を、情報提供サービス装置に登録させ、

前記関連情報の配信条件と前記旅行スケジュールとをマッチングして配信条件を満たす旅行者を抽出し、抽出した旅行者の通信アドレスに、前記旅行スケジュールの進行状況に応じて関連情報を配信する、

情報配信方法。

【請求項 3】

旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する情報配信方法であって、

前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランと、前記旅行プランのスケジュールとを記憶し、

前記旅行プランのスケジュールを、前記旅行サービス提供者及び旅行者以外の第 3 者に提供し、

前記旅行プランで訪れる旅行先に関する関連情報及び前記関連情報を配信するための配信条件の指定を、前記第 3 者から受け付け、

前記配信条件を満たす旅行者及び／または前記配信条件を満たすことが予想される旅行者を、前記記憶されている情報に基づいて抽出し、

前記抽出された旅行者の通信アドレス宛に、前記関連情報を所定のタイミングで配信する、

情報配信方法。

【請求項 4】

所定の個人情報を前記通信アドレスと対応付けて記憶し、

前記関連情報の登録に先立って前記配信条件が指定された場合、前記配信条件を満たすことが予想される旅行者の前記個人情報から、旅行者を特定可能な情報を除いた所定の詳細情報を、前記第 3 者に提供する、

請求項 3 に記載の情報配信方法。

【請求項 5】

前記通信アドレスを旅行プランのスケジュールに応じて変更する、請求項 3 に記載の情報配信方法。

【請求項 6】

前記第 3 者に対し、関連情報の配信数及び／または配信したデータ量に応じ、課金を行う、請求項 3 に記載の情報配信方法。

【請求項 7】

前記旅行プラン実行中に所定のチケットが使用されたことを検知し、前記チケットの使用実績に基づいて旅行プランのスケジュールの変更を検出する、

請求項 3 に記載の情報配信方法。

【請求項 8】

旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する情報配信装置であって、

前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランと、前記旅行プランのスケジュールとを対応付けて記憶する記憶手段と、

前記旅行プランのスケジュールを、前記旅行サービス提供者及び旅行者以外の第 3 者に提供する提供手段と、

前記旅行プランで訪れる旅行先に関する関連情報及び関連情報を配信する配信条件の指定を、第 3 者から受け付ける受付手段と、

前記配信条件を満たす旅行者及び／または前記配信条件を満たすことが予想さ

れる旅行者を、前記記憶されている情報に基づいて抽出する抽出手段と、

前記抽出された旅行者の通信アドレス宛に、前記関連情報を所定のタイミングで配信する配信手段と、

を備える情報配信装置。

【請求項 9】

旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する情報配信方法であって、

前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランとを、対応付けて記憶し、

前記旅行プランのスケジュールを第 3 者に提供し、

前記旅行プランに参加する旅行者用の広告の指定を、第 3 者から受け付け、

前記旅行プランに参加する旅行者の通信アドレス宛に、前記広告を所定のタイミングで配信する、

情報配信方法。

【請求項 10】

複数の利用者端末と複数の広告者端末と複数の旅行会社端末とがネットワークを介して接続された広告提供装置に使用される広告配信方法を実行するためのプログラムが記録された記録媒体であって、

利用者端末または旅行会社端末に対し、旅行の申込みにに関する情報及び／または広告情報の受信条件に関する情報を入力するための画面を提供する処理と、

利用者端末または旅行会社端末から送信されてきた申込み情報に基づいて、利用者と旅行スケジュール及び広告の受信条件とを対応づけて記憶装置に記憶する処理と、

広告者端末に対して旅行者に配信する広告データ及び配信条件を入力するための画面を提供する処理と、

広告者端末から送信されてきた旅行者に配信する広告データ及び配信条件を記憶装置に記憶する処理と、

旅行者の受信条件と広告の配信条件とを比較して合致する旅行者を特定する処理と、

特定された旅行者に対して当該広告データを送信する処理と、
を実行するプログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット上での情報提供サービスに関し、さらに詳細には旅行者を対象とした、インターネット環境を利用しての新しい情報サービス手法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットの急速な普及に伴い、インターネット上で各種商品の買い物や各種のチケット予約、旅行の申し込みなどをすることが一般的になってきている。これらのサービスを提供する者は、利用者の購買履歴に基づいて、その嗜好性などを分析し、商品の販売戦略などのマーケティング戦略に利用している。つまり、その利用者が次にどういう商品を欲しがるか、どんな行動をするかを、購買履歴の分析結果から予測し、予測に沿って商品を開発したりサービスを提供したりするのである。この手法は、マーケティング戦略上有効であり、広く利用されている。

【0003】

インターネットは、こういった購買履歴の収集に適している。なかでも、ウェブページを介してサービスを利用するための利用者登録を利用者に促し、登録時に利用者IDを割り振ることで、その後の利用者の購買活動を利用者IDで一括して管理する方式が一般的に行われている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、インターネット上で提供される商品やサービスの購買履歴を、利用者IDを元に分析するには、大量の履歴データを収集しなければならず、その時間的、金銭的負担が多大である。また、統計学などの高度な分析知識が必要とされ、正確で有用な分析結果を得るのは容易ではない。さらに、この購買履歴や分析

結果は営業秘密として扱われるのが通常であり、莫大な費用を投じているにもかかわらず、自社のマーケティング戦略以外にはほとんど有効に使われていない。

【 0 0 0 5 】

本発明は、そのような高度の分析結果を必要とすることなく、インターネットを利用するユーザに対して最適の広告効果を狙った商品またはサービス情報の提供を目的とするものであり、移動中の旅行者を対象として、その最適のタイミングと最適のポイントにおいて当該旅行者の必要とする広告情報を提供し、旅行者に対する広告効果を高めようとするものである。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために、本発明は、特定された1人または複数人の旅行スケジュールを参照して、その旅行スケジュールの日時または場所に関して予め登録されている広告情報または参考情報を、前記特定された人の通信用識別子を指定して自動的に配信する考え方を骨子とするものである。さらに具体的に述べると、本願第1発明は、特定された人の旅程を参照して、当該日時及び／または場所に関して予め登録されている広告情報または参考情報を、前記特定された人の情報端末に自動的に配信する情報配信方法を提供する。

【 0 0 0 7 】

本願第2発明は、旅行先に関する情報を情報提供サービス装置から旅行者に配信する情報配信方法であって、

A；前記旅行者の通信アドレスと、旅行者が参加する旅行スケジュールとを情報提供サービス装置に登録させ、

B；前記旅行スケジュールで訪れる旅行先に関する関連情報及び関連情報を配信するための配信条件を、情報提供サービス装置に登録させ、

C；前記関連情報の配信条件と前記旅行スケジュールとをマッチングして配信条件を満たす旅行者を抽出し、抽出した旅行者の通信アドレスに、前記旅行スケジュールの進行状況に応じて関連情報を配信する、

情報配信方法を提供する。

【 0 0 0 8 】

本願第3発明は、旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する方法であって、下記A～E段階を含む情報配信方法を提供する。

A；前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランと、前記旅行プランのスケジュールとを記憶し、

B；前記旅行プランのスケジュールを、前記旅行サービス提供者及び旅行者以外の第3者に提供し、

C；前記旅行プランで訪れる旅行先に関する関連情報及び前記関連情報を配信するための配信条件の指定を、第3者から受け付け、

D；前記配信条件を満たす旅行者及び／または前記配信条件を満たすことが予想される旅行者を、前記記憶されている情報に基づいて抽出し、

E；前記抽出された旅行者の通信アドレス宛に、前記関連情報を所定のタイミングで配信する。

【0009】

所定の旅行プランとしては、旅行会社が計画するパック旅行や、旅行者が自分で計画するプランが挙げられる。通信アドレスとしては、電子メールアドレス、インスタントメッセージ用ID、電話番号、FAX番号、IPアドレスなどを用いることができる。通信アドレスは1つとは限らない。

【0010】

関連情報としては、第3者が販売するおみやげ物や飲食店情報、宿泊情報、見所情報などの広告や商品ニュースを挙げることが出来る。また、広告に加えて、広告を識別するための広告IDや、広告品を識別するための識別番号、例えばバーコードを含めることもできる。このようにすれば、旅行者が来店した場合にその広告IDやバーコードを元に、広告された割引サービスなどを実施することができる。

【0011】

配信条件としては、旅行プランそのものの指定や、旅行先の地域、旅行の期間、旅行者の年代、性別、職業、家族構成などを指定することが挙げられる。例えば、配信地域“大阪”、配信日時“2000/7/3-5”を指定した場合、2000年7月3-5日の間に大阪にいる旅行者に対し、広告が送られる。また、指定期間に指定

地域にすることが予想される旅行者に対し、前もって広告を送ってもよい。広告など関連情報の配信は、自動的に行っても良いし、旅行者からの要求に応じて行っても良い。

【 0 0 1 2 】

配信のタイミングとしては、配信条件が満たされている旅行中だけでなく、配信条件が満たされると予想される旅行前や移動前も考えられる。

本願第4発明は、前記第3発明において、所定の個人情報を前記通信アドレスと対応付けて記憶する情報配信方法を提供する。この方法では、前記関連情報の登録に先立って前記配信条件が指定された場合、前記配信条件を満たすことが予想される旅行者の前記個人情報から、旅行者を特定可能な情報を除いた所定の詳細情報を、前記第3者に提供する。

【 0 0 1 3 】

個人情報としては、氏名、住所、年代、性別、趣味、職業、クレジットカード情報などが挙げられる。このうち、氏名や住所、クレジットカード情報以外の情報は、他人に公開しても差し支えないと考えられる。そこで、そのような情報を第3者に提供し、より有効な広告を提供するための助けとする。詳細情報は、配信条件を入力するウェブページ上で提供しても良いし、電子メールで所定時間毎に配信しても良い。

【 0 0 1 4 】

本願第5発明は、前記第3発明において、前記通信アドレスを旅行プランのスケジュールに応じて変更する情報配信方法を提供する。

例えば、旅行先が携帯電話の通話圏外である場合、通信アドレスを滞在先ホテルのファックス番号に変更することが挙げられる。

【 0 0 1 5 】

本願第6発明は、前記第3発明において、前記第3者に対し、関連情報の配信数及び／または配信したデータ量に応じ、課金を行う情報配信方法を提供する。

広告を配信した数や広告のデータ量に応じて第3者に対して課金する。実際に広告を旅行者が見た場合のみ課金対象にすることも可能である。

【 0 0 1 6 】

本願第7発明は、前記第3発明において、前記旅行プラン実行中に所定のチケットが使用されたことを検知し、前記チケットの使用実績に基づいて旅行プランのスケジュールの変更を検出する、情報配信方法を提供する。

【0017】

これにより、例えば使用されなかったチケットをキャンセル扱いとすることができる。また、例えば電車に乗り遅れた旅行者に対し、代替チケットを通知することができる。

【0018】

本願第8発明は、旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する情報配信装置であって、記憶手段と、提供手段と、受付手段と、抽出手段と、配信手段と、を備える情報配信装置を提供する。

【0019】

記憶手段は、前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランと、前記旅行プランのスケジュールとを対応付けて記憶する。提供手段は、前記旅行プランのスケジュールを、前記旅行サービス提供者及び旅行者以外の第3者に提供する。受付手段は、前記旅行プランで訪れる旅行先に関する関連情報及び関連情報を配信する配信条件の指定を、第3者から受け付ける。抽出手段は、前記配信条件を満たす旅行者及び／または前記配信条件を満たすことが予想される旅行者を、前記記憶されている情報に基づいて抽出する。配信手段は、前記抽出された旅行者の通信アドレス宛に、前記関連情報を配信する。

【0020】

この装置は、前記方法を実行するための旅行サービス提供者のホスト端末に用いられる。

本願第9発明は、旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する方法であって、下記A～D段階を含む情報配信方法を提供する。

【0021】

A；前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランとを、対応付けて記憶し、

B；前記旅行プランのスケジュールを第3者に提供し、

C ; 前記旅行プランに参加する旅行者用の広告の指定を、第3者から受け付け

D ; 前記旅行プランに参加する旅行者の通信アドレス宛に、前記広告を配信する。

【0022】

この方法は、旅行業者などのサーバに用いられる。例えば、旅行者の電子メールアドレスを予め取得しておき、旅行者IDとして用いる。第3者は、旅行プランのスケジュールを見て、いつどこに観光客が来るかを知り、旅行プランにあった広告をサーバに登録する。サーバは、旅行プランの参加者に対し、旅行の出発日1週間前に広告を配信したり、移動先に移動する毎に広告を配信したりする。

【0023】

本願第10発明は、複数の利用者端末と複数の広告者端末と複数の旅行会社端末とがネットワークを介して接続された広告提供装置に使用される広告配信方法を実行するためのプログラムが記録された記録媒体を提供する。このプログラムは、下記A～Fの処理を実行する。

A ; 利用者端末または旅行会社端末に対し、旅行の申込みに関する情報及び／または広告情報の受信条件に関する情報を入力するための画面を提供する処理、

B ; 利用者端末または旅行会社端末から送信されてきた申込み情報に基づいて、利用者と旅行スケジュール及び広告の受信条件とを対応づけて記憶装置に記憶する処理、

C ; 広告者端末に対して旅行者に配信する広告データ及び配信条件を入力するための画面を提供する処理、

D ; 広告者端末から送信されてきた旅行者に配信する広告データ及び配信条件を記憶装置に記憶する処理、

E ; 旅行者の受信条件と広告の配信条件とを比較して合致する旅行者を特定する処理、

F ; 特定された旅行者に対して当該広告データを送信する処理。

【0024】

【発明の実施の形態】

＜発明の概要＞

本発明では、利用者IDとその利用者のスケジュールとを連携させる。ある種の商品、例えば乗り物チケットや旅行は、購入者の将来の一定期間における行動を、スケジュールによって拘束する。従って、利用者IDと、商品と、商品に関するスケジュールとを連携させることで、その利用者の将来の一定期間における行動を容易に予測することができる。

【0025】

例えば、インターネットで旅行プランへの参加を申し込んだ参加者は、その旅行プランのスケジュールに従って行動する。すなわち、参加者は、ある日時に所定の集合場所に集り、決められた交通機関を利用して移動し、決められた場所に一定期間滞在し、一定期間決められた範囲内の地域で買い物、食事などの活動をする。

【0026】

このような旅行スケジュールは、旅行業者以外の第3者にとって、利用価値が高いマーケティング情報である。旅行先にあるお土産販売店や飲食店などは、旅行スケジュールを旅行業者から前もって教えてもらい、スケジュールに合わせて広告を作成し、旅行業者のサーバなどに登録しておく。旅行業者は、登録された広告を、スケジュールに合わせて旅行者に送信する。移動先にいる旅行者や旅行を目前にした旅行者は、自分のスケジュールにあったタイミングで、旅行先でのお土産や飲食店情報などを教えてもらうことができる。

【0027】

第3者は、旅行スケジュールだけでなく、旅行者の年齢層や家族構成、趣味などの詳細情報を、旅行業者から教えてもらい、旅行者に一層適した広告を行うこともできる。前記詳細情報は、個人を特定する情報でなければ第3者に提供しても構わないと考えられる。

【0028】

さらに、このシステムでは、第3者に対してマーケティングのチャンスを付与できるだけでなく、旅行業者や旅行プランへの参加者に対し、付加的なメリットをもたらすことができる。旅行業者にとっては、スケジュールの利用に対し第3

者から対価を徴収することができる。旅行プランの参加者は、その分を旅行料金の値下げに反映してもらったり、旅行先に関する豊富な地域情報を簡単に収集することができる。

【0029】

<第1実施形態例>

次に、本発明の情報配信システムについて、実施形態例を挙げて具体的に説明する。この実施形態例において、旅行者とは、旅行中であるか否かを問わず、旅行業者端末に接続するユーザ、言い換えれば旅行業者の顧客を言う。

【0030】

(1) 構成

(1-1) 全体構成

図1は、第1実施形態例に係る情報配信システムの全体構成図である。このシステムは、旅行業者端末1と、旅行者端末2と、広告者端末3と、チケット読取装置4とが、インターネット等のネットワーク5に接続されている。さらに、ネットワーク5には、旅行業者のオペレータが操作する操作端末6が接続されている。

【0031】

旅行業者端末1は、パック旅行や個人旅行の企画や手配、実行に必要な情報を管理している。本発明における情報提供サービスを実施する旅行業者端末は、各旅行業者毎に設けられる端末だけでなく、複数の旅行業者端末が接続され、複数の旅行業者を統括して本システムのサービスを実施する端末でも良い。旅行者端末2には、旅行者となるユーザが家庭などで使用する端末2aと、旅行先で使用する移動端末2bとがある。例えば、ユーザは、家庭ではデスクトップやノートブック型PCを用いてウェブページにアクセスし、ユーザ登録や旅行の申し込みを行う。そして、旅行先では、携帯電話やPHS (Personal Handyphone System;登録商標)、PDA (Personal Data Assistance) 等を用いて広告を受信する。移動端末は、所定の無線基地局を介してインターネット等に接続される。

【0032】

(1-2) 旅行業者端末の構成

旅行業者端末1は、旅行者情報、旅行プランを管理し、ウェブページ上で旅行プランの広告や申し込みの受け付け、ユーザ登録の受付などを行う。さらに、旅行業者端末1は、お土産店や飲食店などの広告を、旅行スケジュールに合わせて旅行者に配信する。この広告配信のために、旅行業者端末1は、スケジュールデータベース(DB)11、旅行者DB12、配信情報DB13、配信部14、旅行者管理部15、スケジュール登録部16、配信情報管理部17、課金管理部18及び利用通知受信部19を有している。

【0033】

スケジュールDB11には、旅行業者が販売する旅行プランが蓄積されている。旅行者DB12には、旅行者情報や、各旅行者が申し込んだ旅行に関する情報が蓄積されている。配信情報DB13には、広告者情報や広告者が配信したい広告が蓄積されている。これらのDBの詳細については後述する。

【0034】

配信部14は、配信情報DB13に登録されている配信条件に基づいて、旅行者端末2に広告等の配信情報を配信する。また、配信部14は、広告者に旅行者に関する詳細情報を配信する。旅行者管理部15は、旅行者から個人情報の登録を受け付ける。スケジュール登録部16は、旅行者から旅行の申し込みを受け付ける。配信情報管理部17は、広告者に関する情報の登録や広告(配信情報)の登録、広告の配信条件の登録を受け付け、配信情報DB13に登録する。課金管理部18は、配信された情報の数やデータ量に応じて広告者への課金額を算出し、決算処理を行う。利用通知受信部19は、チケット読取装置4からのチケットの利用通知を受けて、スケジュールDB11や旅行者DB12を更新する。

【0035】

(1-3) 旅行者端末

旅行者端末2には、旅行業者からの情報を受信する受信部22と、受信した情報を表示する表示部23と、所定の情報を登録し旅行業者端末1に送信する登録部21とが設けられている。登録部21は、移動端末2bにはなくても良い。これらの機能は、本例ではブラウザにより実現される。旅行者は、旅行業者端末1がウェブページ上で提供する旅行プランなどの情報を、ブラウザにより閲覧する

。また、ユーザ情報の登録や旅行申し込みの登録は、ウェブページ上の所定のフォームに入力することにより行う。

【0036】

本例においては、旅行者端末2のうち旅行者が移動先で使用する携帯電話等の可搬端末には、電子メール装置及びブラウザが搭載されている。旅行者は、広告のURLを電子メールにより受け取り、ブラウザにより配信された広告の内容を参照する。

【0037】

(1-4) 広告者端末

広告者端末3は、旅行者に広告を配信したいお土産店や飲食店など（以下、単に広告者という）が用いる端末である。この端末3は、広告者に関する情報を旅行業者端末1に登録したり、広告を旅行業者端末1に登録するための広告登録部31を有している。この機能は、本例ではブラウザを用いて実現する。広告者は、ブラウザにより、広告者や配信情報を登録するためのウェブページにアクセスし、所定の情報をウェブページ上のフォーマットに入力して旅行業者端末1に送信する。

【0038】

(1-5) チケット読取装置

チケット読取装置4は、チケットの利用を検知する利用検知部41と、利用されたチケットを旅行業者端末1に通知する利用通知部42とを有している。チケット読取装置4は、例えば鉄道の自動改札機や飛行機のチェックインカウンターに設けられる。

【0039】

(1-6) 旅行業者側操作端末

操作端末6は、旅行業者のオペレータがスケジュールを入力したり、企画した旅行プランを入力したりするのに用いられる。

【0040】

(2) データベース内の情報

(2-1) スケジュールDB

図2は、スケジュールDB11に蓄積される情報の概念説明図を示している。スケジュールDB11には、図示するように、プランテーブル及びチケットテーブルが蓄積されている。図2(a)のプランテーブルには、旅行業者が手配する旅行プランについての情報が蓄積されている。この例では、「旅行プランID」、「旅行プラン名」、旅行プランの「定員」、「参加者」および所定のスケジュール情報が蓄積されている。

【0041】

「旅行プランID」は、旅行プランを特定する識別情報である。

「旅行プラン名」としては、通常、各旅行プランがどのようなプランであるかを端的に表す名称が記録される。

【0042】

「参加者」としては、参加者の旅行者IDが少なくとも記録される。旅行者IDの他に、氏名等の所定の個人情報を記録しておいても良い。

スケジュール情報としては、旅行プランのスケジュールを特定する情報が蓄積される。図2(a)では、「移動日時」、「場所」、「移動手段」及び「チケットID」がセットになって記録されている。例えば、“2000年10月1日10時00分”に“東京”から“新大阪”行きの“JR新幹線ひかりX号”で移動すること及び新幹線のチケットはチケットID“0001-20”である。

【0043】

図2(b)のチケットテーブルには、チケットに関する所定の情報が蓄積されている。この例では、チケットを特定するための「チケットID」ごとに、「チケット名」、「使用日時」、「場所」及び「代替チケット」が記録されている。例えば、チケットID“0001”のチケットは、JR新幹線の切符であり、2000年10月1日10時東京発大阪行きである。この代替チケットとしては、ID“0041”のチケットが確保されている。代替チケットは予め確保されているだけでなく、必要な事態が発生した時に手配の上、そのIDが設定されるようにしていてもよい。

【0044】

(2-2) 旅行者DB

図3は、旅行者DB12に蓄積されている情報の概念説明図である。このデータベースには、旅行者ID毎に所定の個人情報と、あれば参加予定の旅行プランとが蓄積されている。この例では、「旅行者ID」、「参加旅行プランID」、「個人情報」、「広告受信フラグ」、所定のスケジュール情報及び「チケット情報」が記述されている。

【0045】

「旅行者ID」は旅行業者端末1が旅行者を特定するための識別情報である。本システム独自の識別情報を設けても良いが、携帯電話の番号や電子メールアドレスなどを旅行者IDとして用いることもできる。図3では、旅行者の電子メールアドレスを旅行者IDとして用いている。電子メールアドレスを旅行者IDとして用いることにより、旅行者IDを広告配信先アドレスとして用いることができる。

【0046】

「参加旅行プランID」には、その旅行者が参加を申し込んだ旅行プランのIDが記録される。

「個人情報」には、例えば氏名、住所、年齢、性別、趣味、職業、家族構成、クレジットカード情報等が記録される。クレジットカード情報には、ネットワーク上での決済に必要なクレジットカード種別、カード番号及び有効期限が記録される。

【0047】

「広告受信フラグ」には、広告の受信条件が記述される。例えば、旅行業者端末1を介して配信される広告を、受信されるか否かが記述される。また、受信したい広告の種別や受信数の上限を特定することもできる。この例では、旅行者は、お土産品情報や飲食店情報の広告の受信を1日あたり10通まで希望している。

【0048】

スケジュール情報としては、「移動日時」、「場所」及び「状態」がセットで記録されている。「移動日時」及び「場所」には、参加する旅行プランのスケジュール情報と同様の内容が記述される。「状態」には、例えば既にその場所に到

着したかどうかやチケットが使用されたか、未使用かまたはキャンセルされたかが記録される。

【0049】

チケット情報としては、「チケット名」と「チケットID」とがセットで記録されている。これにより、どのチケットがどの旅行者に割り当てられているかが特定されている。

【0050】

(2-3) 配信情報DB

図4は、配信情報DB13に蓄積される情報の概念説明図である。配信情報DB13には、広告者に関する情報やその広告者の広告が蓄積されている。なお、配信情報DB13には、広告のコンテンツそのものを蓄積せず、広告コンテンツのアドレスを蓄積しても良い。

【0051】

この図では、配信DBには、「広告ID」、「広告者ID」、「広告者名」、「配信データ」、所定の配信条件、「課金情報」及び「おすすめ度」が蓄積されている。

【0052】

「広告ID」は、旅行業者端末1が広告を特定するための識別情報である。広告IDは、旅行業者側が付与しても良いし、各広告者が付与しても良い。

「広告者ID」としては、広告者を特定できる情報、例えば電子メールアドレスや電話番号等が記録される。もちろん、本システム独自の識別情報を設け、広告者IDに用いても良い。

【0053】

「広告者名」には、広告者の氏名や社名が記述される。

「配信データ」には、広告のコンテンツや広告コンテンツのアドレス、例えばURLが記録される。広告コンテンツとしては、HTML形式のファイル、テキストデータ、画像データ、音声データ等特に限定されない。また、広告コンテンツは、広告を識別するための広告IDや、広告品を識別するための識別番号、例えばバーコードを含んでいてもよい。旅行者が来店した場合にその広告IDやバ

ーコードを元に、広告された割引サービスなどを実施することが容易である。

【0054】

配信条件として、図4では「配信地域」、「配信時期」及び「配信対象者」が記録されている。これらは広告者により指定され、これらの組み合わせにより配信条件が決定する。「配信地域」には、広告者が広告を配信したい地域が記録される。「配信時期」には、広告者が広告を配信したい時期が記録される。「配信対象者」には、広告者が配信データを配信したい旅行者の属性、例えば年代、性別、家族構成が記述される。なお、図示していないが、旅行プランIDを配信条件の1つとすることも可能である。

【0055】

「課金情報」には、例えば1月あたりの広告配信数や配信したデータ量から算出される課金額が記述される。

「おすすめ度」は、旅行業者側が設定する情報であり、広告されている商品のお薦め度合いが星印の数で表される。

【0056】

以上述べた情報の他に、各データベースには必要に応じて様々な情報を蓄積することができる。

(3) 処理の流れ

次に、本システム全体における処理の流れについて、図面を参照して説明する。本情報配信システムは、主に、(1)メイン処理と、(2)チケット処理とを行う。メイン処理は、登録された広告を旅行者に配信する。チケット処理は、チケットの使用通知を受け付け、スケジュールに反映させる。

【0057】

(3-1) 全体的な処理の流れ

図5は、情報配信システム全体における処理の流れを示す説明図である。旅行業者端末1と、旅行者端末2と、広告者端末3との間では、次のような処理が行われる。

【0058】

まず、旅行者は、旅行業者のホームページにアクセスし、ウェブページ上で提

供されるフォームに所定の個人情報を入力する（図 1 1 参照）。これにより、旅行業者端末 1 に旅行者自身がユーザ登録される（＃ 1）。ユーザ登録に際し、後に広告を配信してもらうための配信先アドレスも登録しておく。本例では、配信アドレスとして、旅行者 ID である電子メールアドレスを用いる。

【0059】

ユーザ情報を受信した旅行業者端末 1 は、入力された個人情報を旅行者 DB 1 2 に書き込み、旅行者 DB 1 2 を更新する（＃ 2）。

次いで旅行業者端末 1 は、旅行者端末 2 に対し、登録通知を発行する（＃ 3）。これにより、旅行者は、自分自身が旅行業者端末 1 に登録されたことを確認する。

【0060】

旅行者が旅行業者の旅行プランに参加したいと思った場合、旅行業者端末 1 が提供するウェブページ上で旅行の申し込みを行う（＃ 4）（図 1 2 参照）。この申し込みを受信した旅行業者端末 1 は、ウェブページに入力された情報を旅行者 DB 1 2 に書き込む（＃ 5）。また、個人情報に含まれているクレジットカード情報を用いて決済を行う。次いで、申し込まれた旅行プランに関する情報をスケジュール DB 1 1 から読み出す（＃ 6）。旅行業者端末 1 は、旅行者に対し、参加の決定を通知し、チケットの送付や詳細なスケジュールの送付を行う（＃ 7）。

【0061】

前記＃ 1 から＃ 7 までの処理とは独立に、広告者は下記の処理を旅行業者端末 1 との間で行う。まず、広告者は、自分自身や広告を旅行業者端末 1 に登録する（＃ 1 1）。広告の登録は、旅行業者端末 1 が提供するウェブページ上で行う（図 1 3 参照）。旅行業者端末 1 は、登録された広告を配信情報 DB 1 3 に書き込み（＃ 1 2）、登録完了を広告者に通知する（＃ 1 3）。

【0062】

旅行業者端末 1 は、例えば一定時間間隔で配信すべき広告があるか否かを判断する。この判断のタイミングは、所定時間毎や、新たな広告が登録される毎など、特に限定されない。広告がある場合にはその広告及び広告配信先のアドレスを

データベースから読み出し（＃１４）、読み出した広告を配信先である旅行者端末２に配信する（＃１５）。前記配信すべき広告があるか否かの判断は、旅行者DB１２、スケジュールDB１１及び配信情報DB１３を参照し、配信条件と受信条件とが合致する旅行者を抽出することにより行う。

【００６３】

さらに、旅行業者端末１は、例えば１日１回、配信数を広告者端末３に通知するとよい（＃１６）。また、旅行業者端末１は、例えば１月単位で広告の配信数やデータ量に応じて広告者への請求額を算出し、決済処理を行う。

【００６４】

（３－２）チケット処理

図６は、チケット処理の流れを示す説明図である。前記図５のメイン処理とは独立に、チケット読取装置４と旅行業者端末１との間では、下記の処理が行われる。

【００６５】

チケット読取装置４は、チケットが使用される毎に、利用通知を旅行業者端末１に送信する（＃２１）。この利用通知には、利用されたチケットを特定するための所定の情報が含まれる。図７は、利用通知に含まれる情報の一例であり、チケット情報、送信先端末アドレス、サービス識別子及び利用日時情報が含まれている。

【００６６】

「チケット情報」としては、チケットを特定するための情報、例えばチケットIDが用いられる。「送信先端末アドレス」としては、旅行業者端末１のIPアドレスが挙げられる。「サービス識別子」としては、何のチケットかを表す情報、例えばJR新幹線ひかりX号といった情報が記録される。「利用日時情報」としては、チケット読取装置４がチケットの使用を検知した日時が記述される。

【００６７】

利用通知を受け取った旅行業者端末１は、そのチケットが使われるべき旅行プランをスケジュールDB１１から検索する（＃２２）。次いで、旅行業者端末１は、旅行プランの参加者の中から使用されたチケットが割り当てられている旅行

者を特定し、チケットの状態を“使用”に更新する。（＃ 2 3）。

【 0 0 6 8 】

（ 4 ） 旅行業者端末の処理

前記図 5 及び図 6 の処理において、旅行業者端末 1 は、主に、 1） 広告配信処理、 2） 代替スケジュール通知処理、 及び 3） 顧客情報配信処理を行っている。
以下、この 3 つの処理について図面を用いて詳述する。

【 0 0 6 9 】

（ 4 - 1 ） 広告配信処理

図 8 は、広告配信処理の流れを示すフローチャートである。この処理では、旅行業者端末 1 は、登録されている広告を、配信条件を満たす旅行者に配信する処理を行う。本例では、配信条件と受信条件とが合致するか否かの判断を 1 日 1 回行い、合致する場合は広告の配信を行う。

【 0 0 7 0 】

ステップ S 1：旅行業者端末 1 は、所定の一定時間毎、例えば 1 日 1 回、下記の処理を繰り返す。

ステップ S 2：旅行業者端末 1 は、スケジュール DB 1 1 を参照し、登録されている旅行プランの中から本日遂行される旅行プランのいずれかを選択する。

【 0 0 7 1 】

ステップ S 3、S 4：旅行業者端末 1 は、配信情報 DB 1 3 を参照し、選択した旅行プランが配信条件を満たすような広告があるか否かを判断する（S 3）。例えば、旅行プランの本日の旅行先及び日程と、配信地域及び配信時期とが合致していれば、広告有りと判断される。

【 0 0 7 2 】

また、配信条件において配信対象者が指定されている場合には、旅行プランの参加者の中から、指定されている対象者の条件を満たす旅行者を抽出する。ステップ S 3 または S 4 で広告がないまたは旅行者が 1 人も抽出できないと判断すると、後述するステップ S 9 に移行する。

【 0 0 7 3 】

ステップ S 5：旅行業者端末 1 は、抽出された旅行者が、広告の配信を要求し

ているか否かを判断する。要求していない場合には後述するステップ S 9 に移行する。また、要求している場合には、広告の種別を指定しているか否かを参照し、各旅行者に配信する広告を決定する。

【 0 0 7 4 】

ステップ S 6、S 7：旅行業者端末 1 は、旅行プランのスケジュールが当初の予定から変更されていないかを、抽出された旅行者毎に確認する（S 6）。これは例えば、既に使用されているはずのチケットが使用されておらず、従って予定の場所に旅行者が移動していない場合が想定されるからである。この判断は、旅行者 DB 1 2 の「状態」を参照することにより行われる。スケジュール変更により広告を配信しても無駄と想定される旅行者は、抽出した旅行者から削除され、ステップ S 9 に移行する。スケジュールに変更が無い旅行者には、広告の URL を記載した電子メールを配信する（S 7）。

【 0 0 7 5 】

ステップ S 8：旅行業者端末 1 は、本日遂行される全ての旅行プランについて前記ステップ S 3 から S 7 の処理を行ったか否かを判断し、“Y e s”と判断すると再びステップ S 1 に戻って一定時間の経過を待機する。

【 0 0 7 6 】

以上の処理により、広告者が設定している配信条件と、旅行者が設定している広告の受信条件とが合致する場合に、旅行者の携帯端末等に旅行先で役立つ情報が送信される。送信の形態は例えば広告の URL を電子メール等で通知することにより行われる。その際に、何の広告であるかを示すメッセージを添付しておけば、旅行者は興味があれば URL をクリックすることにより広告を参照することができる。なお、旅行者が実際に広告のウェブページにアクセスした場合のみ、広告が配信されたものとして課金の対象にするとよい。

【 0 0 7 7 】

前記ステップ S 7 において旅行者に電子メールを配信する場合には、旅行先に応じて配信アドレスを変えることも可能である。例えば、携帯電話の圏外である場合には、前日の宿泊場所の F A X 番号に広告を配信することが挙げられる。配信先の切換は、旅行業者側が端末を操作することにより行ってもよいし、旅行業

者端末1がスケジュールを参照して自動的に行うようにしてもよい。

【0078】

(4-2) 代替スケジュール通知処理

図9は、代替スケジュール通知処理の流れを示すフローチャートである。この処理では、旅行業者端末1は、スケジュール通りに使用されなかったチケットを検出し、旅行者に代わりのチケットを発行する処理を行う。

【0079】

ステップS11：旅行業者端末1は、所定の一定時間毎、例えば1時間毎に以下の処理を行う。

ステップS12：旅行業者端末1は、スケジュールDB11を参照し、現在遂行されている旅行プランの中からいずれかの旅行プランを選択する。

【0080】

ステップS13、S14：旅行業者端末1は、選択した旅行プランの参加者について、スケジュール通りに使用されなかったチケットがあるかどうかを判断する。この判断は、旅行者について旅行者DB12の「状況」を参照し、使用予定時刻が過ぎているにもかかわらず、“未使用”のチケットを検出することにより行う。

【0081】

チケットが全て予定通りに使用されていると判断すると、後述のステップS16に移行する。スケジュール通りに使用されなかったチケットが有る場合には、チケットの状態を“キャンセル”に設定し、旅行者DB12を更新する(S14)。

【0082】

ステップS15：旅行業者端末1は、スケジュールDB11のチケットテーブルを参照し、キャンセルされたチケットの代わりのチケットを検索する。次いで、代わりのチケットの名前、時間場所等の情報を、該当旅行者端末2に通知し、旅行者DB12のスケジュール情報とチケット情報とを書き換える。具体的には、スケジュール情報については、代わりのチケットについての移動日時、場所及び状態を新たに追加し、キャンセルされたスケジュールエントリにはキャンセル

されたことを示す情報を書き込む。チケット情報については、新たに発行された代替チケット名及びそのIDを書き込む。

【0083】

ステップS16：旅行業者端末1は、現在遂行されている旅行プランの全てについて前記S12～S15の処理を行ったかどうかを判断し、“Yes”と判断するとステップS11に戻る。

【0084】

以上の処理を行うことにより、例えば乗り物の発車時刻を過ぎてもチケットが使用されていない場合には、そのチケットは自動的にキャンセルされ、空いた席を他の旅行者に提供することができる。また、予定していた乗り物に乗れなかった旅行者に最も近い時間帯のチケットを通知することにより、その旅行者の利便を図ることができる。

【0085】

(4-3) 顧客情報配信処理

図10は、顧客情報配信処理の流れを示すフローチャートである。この処理では、旅行業者端末1は、広告者に対し、配信条件に合致する旅行者の詳細情報を電子メールなどで送信する。

【0086】

ステップS21：旅行業者端末1は、所定の一定時間毎、例えば1日1回、下記ステップS22～S26の処理を行う。

ステップS22、S23：旅行業者端末1は、配信情報DB13の中から、配信条件だけを登録している広告者を選択する(S22)。次いで、選択した広告者の配信条件に該当する旅行プランを、スケジュールDB11から抽出する(S23)。該当するプランが無い場合には後述するステップS26に移行する。

【0087】

ステップS24：旅行業者端末1は、抽出した旅行プランに参加する旅行者について、所定の詳細情報を作成する。この詳細情報には、配信条件に合う旅行に参加する旅行者の個人情報であって、旅行者個人を特定する情報を除く情報が記述される。例えば、詳細情報には、氏名や住所、電話番号等は含まれない。その

代わりに、旅行者の年代や性別、趣味、職業、家族構成等が含まれる。

【 0 0 8 8 】

ステップ S 2 5 : 旅行業者端末 1 は、作成した詳細情報を広告者に例えば電子メールで送信する。この電子メールには、旅行プランと参加者の詳細情報とが、記述されている。

【 0 0 8 9 】

ステップ S 2 6 : 旅行業者端末 1 は、配信条件だけを登録している全ての広告者について前記 S 2 2 ~ S 2 5 の処理を行ったか否かを判断し、“Y e s”と判断するとステップ S 2 1 に戻り前述の処理を繰り返す。“N o”と判断すると、次の広告者について前述の処理を行う。このようにして、配信条件だけを登録している広告者に次々に旅行者の詳細情報を通知する。

【 0 0 9 0 】

この処理により、広告者は、例えば 1 日に 1 回、自分の配信条件に合致する旅行者についてより詳細な情報を得ることができる。そして得た情報に基づいてその旅行者達に合わせた広告を作成することができ、有効なマーケティングを行うことができる。

【 0 0 9 1 】

なお、詳細情報の提供方法は、電子メールだけに限らない。例えば、ウェブページ上で配信条件を入力されたときに、配信条件に合う旅行プランを表示することもできる。詳細情報を要求するためのボタンを予めウェブページ上に準備しておき、表示された旅行プランのいずれかを選択して前記ボタンが押された場合、その旅行プランの参加者の詳細情報をウェブページ上に表示する。もちろん、種類の提供方法を組み合わせて用いても良い。

【 0 0 9 2 】

(5) 画面例

次に、旅行者端末 2 や広告者端末 3 において表示される画面例を具体的に説明する。

【 0 0 9 3 】

(5 - 1) ユーザ登録画面

図 1 1 は、旅行者が自身を旅行業者端末 1 に登録するための入力フォームの一例である。例えばこのフォームをウェブページ上で提供すれば、旅行者端末 2 にブラウザさえあれば、個人情報を登録することができる。旅行者は、後に広告を配信するために必要な電子メールアドレスに加え、名前や年齢、性別等の情報と旅行プランに参加した場合の支払いに必要な決済情報とを入力する。電子メールアドレスをはじめとする必須情報には、入力が必要であることが「*」印で示されている。

【 0 0 9 4 】

(5 - 2) 旅行申し込み画面

図 1 2 は、旅行者が旅行プランへの申し込みを行うための画面例である。この例では、旅行先と期間を指定すると、該当する旅行プランがウインドウに表示される。表示された旅行プランの中から好みのものにチェックを付け申し込みボタンを押すことにより、旅行プランへの参加を申し込むことができる。

【 0 0 9 5 】

(5 - 3) 広告登録画面

図 1 3 は、広告者が配信条件や広告を登録するためのフォームの一例である。このフォームをウェブページ上で提供すれば、広告者はブラウザさえあれば広告を登録することができる。この例では、配信条件として配信地域及び配信日時を指定している。これらの情報を入力すると、配信条件を満たす旅行プランがウインドウに表示される。ここで「詳細スケジュール」を選択すると、旅行プランのスケジュールが表示される。

【 0 0 9 6 】

登録者 ID 及び登録者パスワードを入力し、広告を特定する URL やファイル名などを入力して登録ボタンを押すことにより、配信条件を指定した広告の配信を、旅行業者に依頼することができる。

【 0 0 9 7 】

さらに、「詳細設定ボタン」を押せば、図 1 4 に示すように、広告を配信する対象者の条件を詳細に設定することができる。

(5 - 4) 配信条件詳細設定画面

図14は、配信条件の詳細設定を行うための画面例である。この例では、地域や日時に加えてさらに性別、年齢、職業、家族構成、ツアー参加回数等を、配信条件の1つとして設定できるようになっている。これらの詳細条件の複数を指定することも可能である。

【0098】

(5-5) 広告画面

図15は、旅行者の移動端末上に広告が表示された例である。旅行者は、電子メールで通知されたURLにアクセスすることにより、図のような広告画面を見ることができる。この画面において、「★」印の数は旅行業者が設定したおすすめ度を示している。広告情報としては、レストラン名、割引メニュー、お得商品に加え、地図情報が掲載されている。また、割引を受け易くするために、バーコードが表示されており、そのバーコードをレジにて読み取ることによりレジでの割引処理を楽にすることができる。表示されている広告番号は、旅行業者端末1が付与したもので、広告についての問い合わせに対応し易くするためのものである。

【0099】

<その他の実施形態例>

(A) 前記実施形態例では、配信条件と受信条件とが合致する旅行者に対し、広告を配信している。しかし、広告の配信は、旅行スケジュールに合わせて最新のタイミングに調整可能である。

【0100】

例えば、配信条件と受信条件とが合致すると予想される旅行者に対しても、広告を配信しても良い。言い換えれば、旅行に出発する前の旅行者や移動先に到着する前の旅行者に対して、これから行く先に関する広告を配信しても良い。なぜなら、旅行者は、これから行く旅行先での計画を練るために、前もって旅行先の情報を入手したいと考えられるからである。

【0101】

具体的には、旅行プランが実行されることにより配信条件が満たされると予想される場合、出発日の一週間前に広告を配信する。もちろん、一週間前でなくと

もよく、ニーズに合わせて適当な期間を設定すればよい。例えば、明日の移動先に関する広告を、移動日前日に送信しても良い。

【 0 1 0 2 】

(B) 前述した本発明の方法を実行するプログラムを記録した記録媒体は、本発明に含まれる。ここで記録媒体としては、コンピュータが読み書き可能なフロッピーディスク、ハードディスク、半導体メモリ、CD-ROM、DVD、光磁気ディスク(MO)、その他のものが挙げられる。

【 0 1 0 3 】

<付記>

(付記 1)

特定された人の旅程を参照して当該日時及び／または場所に関して予め登録されている広告情報または参考情報を前記特定された人の情報端末に自動的に配信することを特徴とする情報配信方法。

【 0 1 0 4 】

(付記 2)

旅行先に関する情報を情報提供サービス装置から旅行者に配信する情報配信方法であって、

前記旅行者の通信アドレスと、旅行者が参加する旅行スケジュールとを情報提供サービス装置に登録させ、

前記旅行スケジュールで訪れる旅行先に関する関連情報及び関連情報を配信するための配信条件とを情報提供サービス装置に登録させ、

前記関連情報の配信条件と前記旅行スケジュールをマッチングして配信条件を満たす旅行者を抽出し、抽出した旅行者の通信アドレスに、前記旅行スケジュールの進行状況に応じて関連情報を配信する、

情報配信方法。

【 0 1 0 5 】

(付記 3)

旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する情報配信方法であって、

前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランと、前記旅行プランのスケジュールとを記憶し、

前記旅行プランのスケジュールを、前記旅行サービス提供者及び旅行者以外の第3者に提供し、

前記旅行プランで訪れる旅行先に関する関連情報及び前記関連情報を配信するための配信条件の指定を、前記第3者から受け付け、

前記配信条件を満たす旅行者及び／または前記配信条件を満たすことが予想される旅行者を、前記記憶されている情報に基づいて抽出し、

前記抽出された旅行者の通信アドレス宛に、前記関連情報を所定のタイミングで配信する、

情報配信方法。

【0106】

(付記4)

所定の個人情報を前記通信アドレスと対応付けて記憶し、

前記関連情報の登録に先立って前記配信条件が指定された場合、前記配信条件を満たすことが予想される旅行者の前記個人情報から、旅行者を特定可能な情報を除いた所定の詳細情報を、前記第3者に提供する、

付記3に記載の情報配信方法。

【0107】

(付記5)

前記通信アドレスを旅行プランのスケジュールに応じて変更する、付記3に記載の情報配信方法。

【0108】

(付記6)

前記旅行者から前記関連情報の配信の要否及び／または配信される関連情報の種類を含む受信条件の指定を受け付け、

前記受信条件と前記配信条件とが合致する場合に、前記関連情報を配信する、付記3に記載の情報配信方法。

【0109】

関連情報の配信は不要である旨を指定している旅行者には、例えその人が配信条件を満たしていても配信を行わない。また、例え配信が“要”であっても、指定されている種類の情報でない場合には、配信を行わない。関連情報の種類としては、例えば飲食情報、お土産情報、見所情報、観劇情報などを挙げる事が出来る。

【 0 1 1 0 】

(付記 7)

前記第 3 者に対し、関連情報の配信数及び／または配信したデータ量に応じ、課金を行う、付記 3 に記載の情報配信方法。

【 0 1 1 1 】

(付記 8)

前記旅行プラン実行中に所定のチケットが使用されたことを検知し、前記チケットの使用実績に基づいて旅行プランのスケジュールの変更を検出する、

付記 3 に記載の情報配信方法。

【 0 1 1 2 】

(付記 9)

前記変更されたスケジュールに基づいて、前記配信条件を満たす旅行者及び／または前記配信条件を満たすことが予想される旅行者の抽出を行う、付記 8 に記載の情報配信方法。

【 0 1 1 3 】

例えば電車のチケットが使用されていない場合、予定されていた移動先に移動していないので、その移動先に関する広告を配信することは無駄である。この無駄を省くために、旅行者の抽出に当たり、スケジュールの変更を反映させる。

【 0 1 1 4 】

(付記 1 0)

旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する情報配信装置であって、

前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランと、前記旅行プランのスケジュールとを対応付けて記憶する記憶手段と、

前記旅行プランのスケジュールを、前記旅行サービス提供者及び旅行者以外の第 3 者に提供する提供手段と、

前記旅行プランで訪れる旅行先に関する関連情報及び関連情報を配信する配信条件の指定を、第 3 者から受け付ける受付手段と、

前記配信条件を満たす旅行者及び／または前記配信条件を満たすことが予想される旅行者を、前記記憶されている情報に基づいて抽出する抽出手段と、

前記抽出された旅行者の通信アドレス宛に、前記関連情報を所定のタイミングで配信する配信手段と、

を備える情報配信装置。

【 0 1 1 5 】

(付記 1 1)

旅行先に関する情報を、旅行サービス提供者から旅行者に配信する情報配信方法であって、

前記旅行者の通信アドレスと、前記旅行者が参加する旅行プランとを、対応付けて記憶し、

前記旅行プランのスケジュールを第 3 者に提供し、

前記旅行プランに参加する旅行者用の広告の指定を、第 3 者から受け付け、

前記旅行プランに参加する旅行者の通信アドレス宛に、前記広告を所定のタイミングで配信する、

情報配信方法。

【 0 1 1 6 】

(付記 1 2)

複数の利用者端末と複数の広告者端末及び複数の旅行会社端末がネットワークを介して接続された広告提供装置に使用される広告配信方法を実行するためのプログラムが記憶された記憶媒体であって、

利用者端末あるいは旅行会社端末に対して旅行の申込みにに関する情報及び／あるいは広告情報の受信条件に関する情報を入力させる画面を表示する処理と、

利用者端末あるいは旅行会社端末から送信されてきた申込み情報に基づいて利用者と旅行スケジュール及び広告の受信条件と対応づけて記憶装置に記憶する処

理と、

広告者端末に対して旅行者に配信する広告データ及び配信条件を入力させる画面を表示する処理と、

広告者端末から送信されてきた旅行者に配信する広告データ及び配信条件を記憶装置に記憶する処理と、

旅行者の受信条件と広告の配信条件を比較して合致する旅行者を特定する処理と、

特定された旅行者に対して当該広告データを送信する処理と、
を含むことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【 0 1 1 7 】

【発明の効果】

本発明を用いれば、ネットワーク上で提供されるサービスの利用履歴を分析する負担を軽減し、ネットワーク上で購入される商品から簡単に利用者の行動を予測することができる。予測結果は第3者により有効にマーケティングに利用される。

【図面の簡単な説明】

【図1】

第1実施形態例に係る情報配信システムの全体構成図。

【図2】

スケジュールDBの概念説明図。

(a) プランテーブル

(b) チケットテーブル

【図3】

旅行者DBの概念説明図。

【図4】

配信情報DBの概念説明図。

【図5】

メイン処理の流れを示す説明図。

【図6】

チケット処理の流れを示す説明図。

【図 7】

チケットの利用通知に含まれるデータ例。

【図 8】

旅行業者端末が行う広告配信処理の流れを示すフローチャート。

【図 9】

旅行業者端末が行う代替スケジュール通知処理の流れを示すフローチャート。

【図 10】

旅行業者端末が行う顧客情報配信処理の流れを示すフローチャート。

【図 11】

ウェブページ上の個人情報登録画面例。

【図 12】

ウェブページ上の旅行申し込み画面例。

【図 13】

ウェブページ上の広告登録画面例。

【図 14】

詳細な配信条件を設定する画面例。

【図 15】

携帯電話における広告の表示例。

【符号の説明】

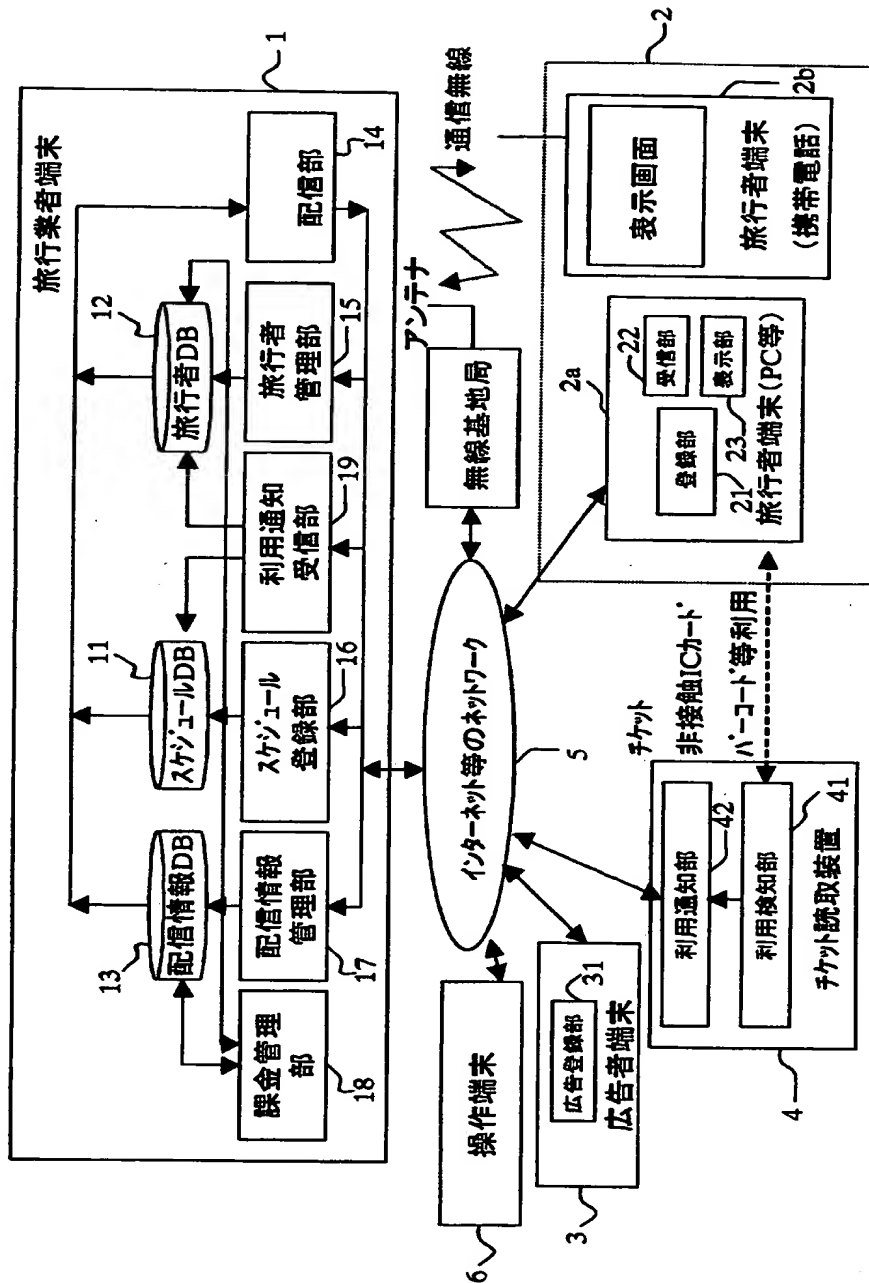
- 1 ; 旅行業者端末
- 2 ; 旅行者端末
- 3 ; 広告者端末
- 4 ; チケット読取装置
- 5 ; ネットワーク

【書類名】

図面

【図 1】

第1実施形態例に係る情報配信システム



【図2】

スケジュールDBの例(旅行行動スケジュール表)

(a) プランテーブル

旅行プランID	OSAKA-20001001		
旅行プラン名	A社 大阪観光ツアー		
定員	20名		
参加者	参加者の旅行者ID,氏名等個人情報		
移動日時	場所(出発地,到着地)	移動手段	チケットID
2000年10月1日 10時00分	東京,新大阪	JR新幹線 ひかりX号	0001-20
2000年10月1日 15時00分	新大阪,Aホテル	徒歩	
2000年10月2日 17時00分	新大阪,東京	JR新幹線 ひかりY号	0021-40

(b) チケットテーブル

チケットID	0001
チケット名	JR新幹線
使用日時	2000年10月1日 10時00分
場所	東京-新大阪
代替チケット	ID0041

スケジュール情報

【図 3】

旅行者DBの例(旅行者行動スケジュール表)

旅行者ID	Abc@xxx.yyy.zzz	
参加旅行プランID	OSAKA-2000I001	
個人情報	住所,氏名,年齢,性別,クレジットカード情報	
広告受信フラグ	要;お土産品;飲食店;10	
移動日時	場所	状態
2000年10月1日 10時00分	東京;新大阪	到着;チケット使用(0001)
2000年10月1日 15時00分	新大阪;Aホテル	到着;チケット未使用(0002)
2000年10月2日 17時00分	新大阪;東京	未到着;チケット未使用(0003)
チケット名	チケットID	
JR新幹線	0001	
朝食クーポン	0101	
JR新幹線	0201	

スケジュール情報 チケット情報

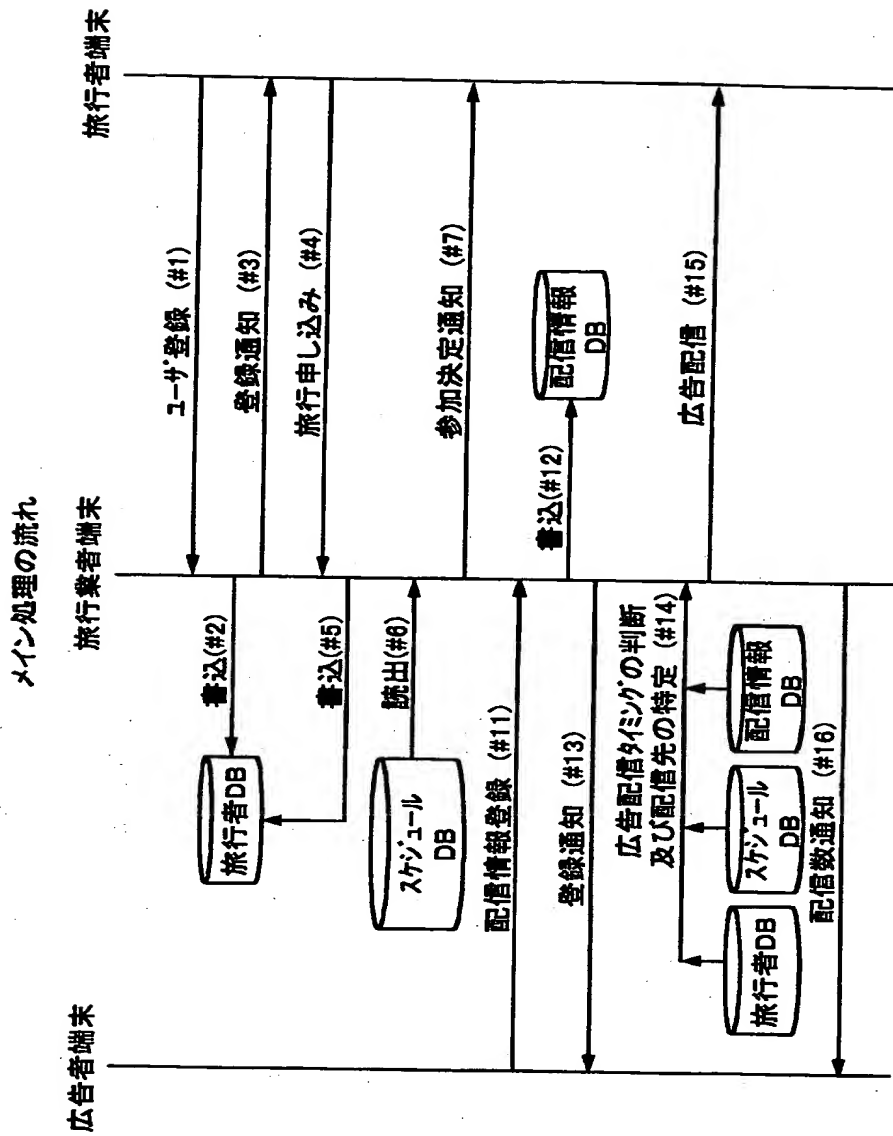
【図 4】

配信情報DBの例

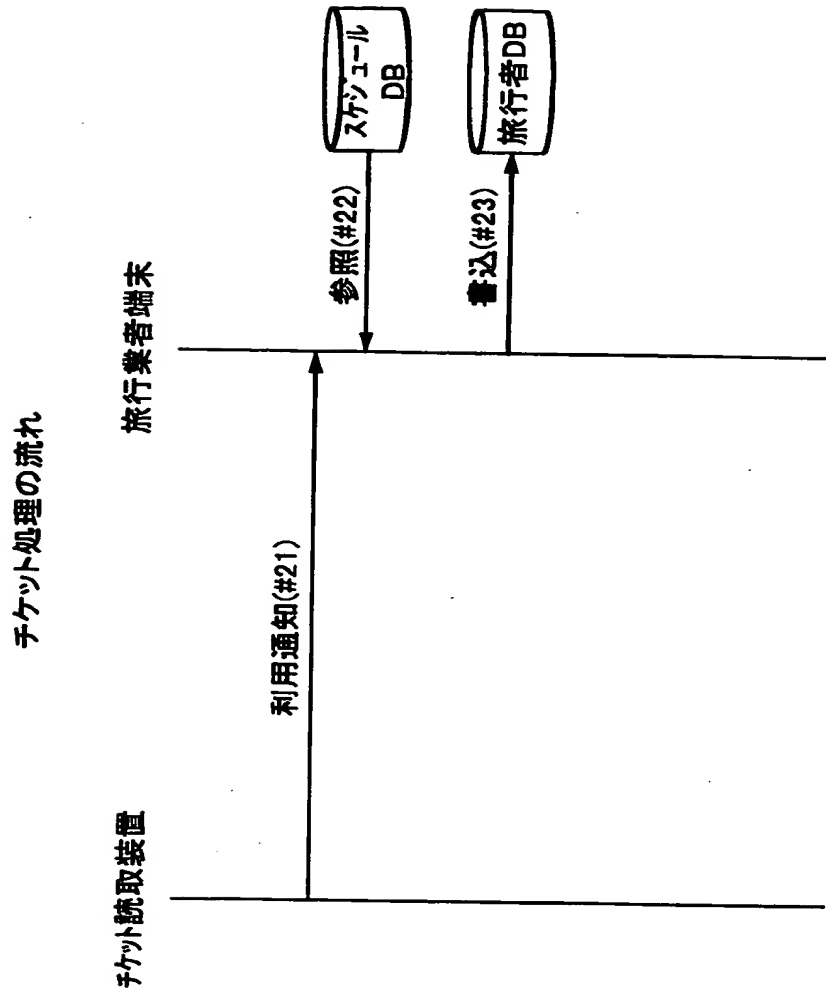
配信
条件

広告ID	Ad-0001
広告者ID	Def@xxx.yyy.zzz
広告者名	B社
配信データ	http://www.fujitsu.co.jp
配信地域	大阪,兵庫
配信時期	2000年6~12月,11~14時
配信対象者	30代,男性
課金情報	配信数 ###,手数料 #####円
おすすめ度	☆☆☆

【図 5】



【図6】

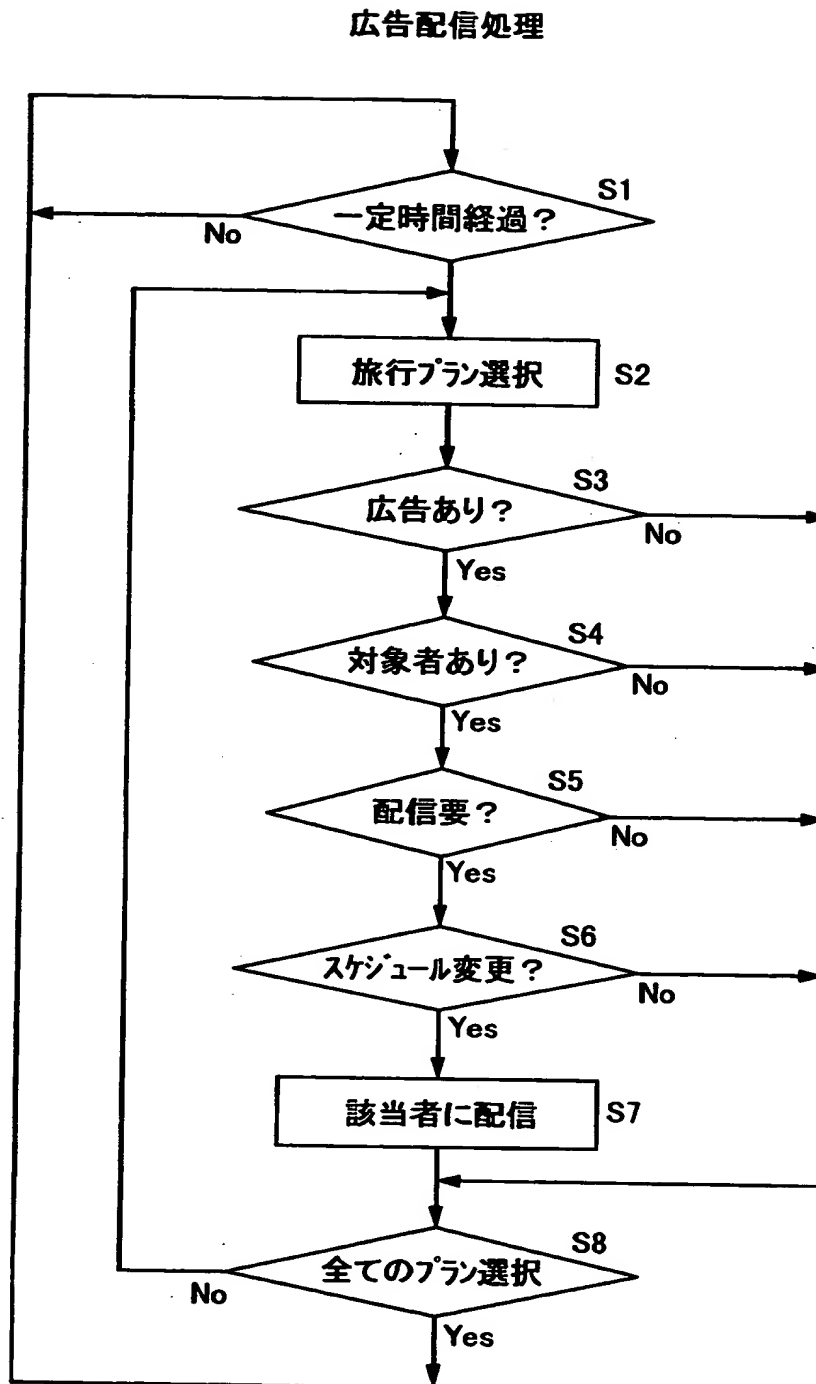


【図 7】

利用通知に含まれるデータの例

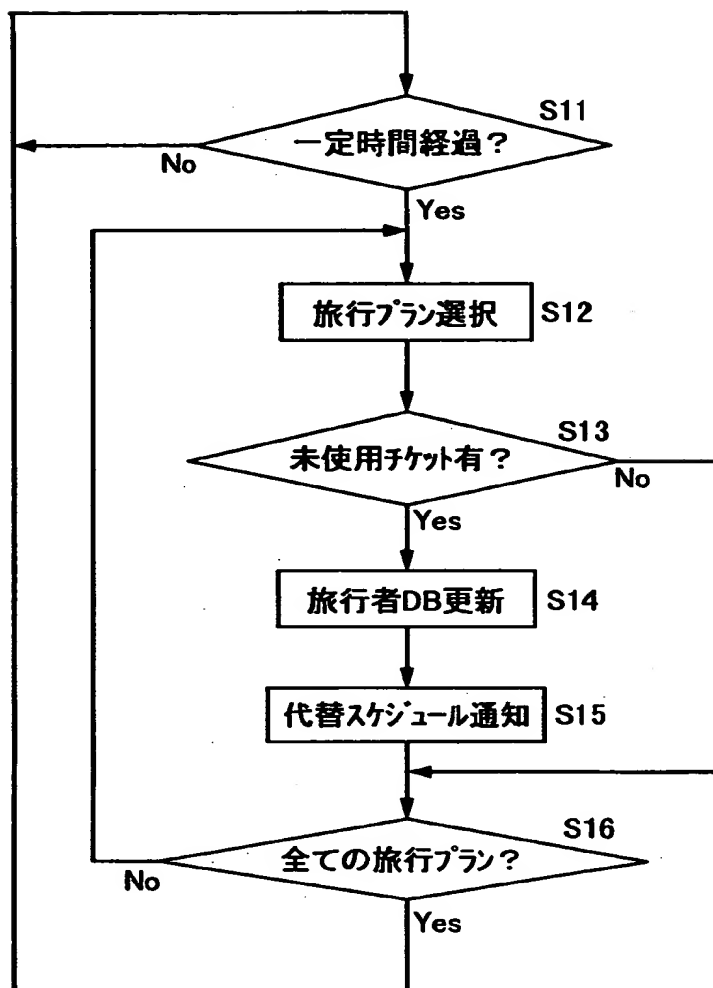
チケット情報(チケットID)
送信先端末アドレス(IPアドレス)
サービス識別子(JR新幹線ひかりX号)
利用日時情報(2000-10-1)

【図 8】

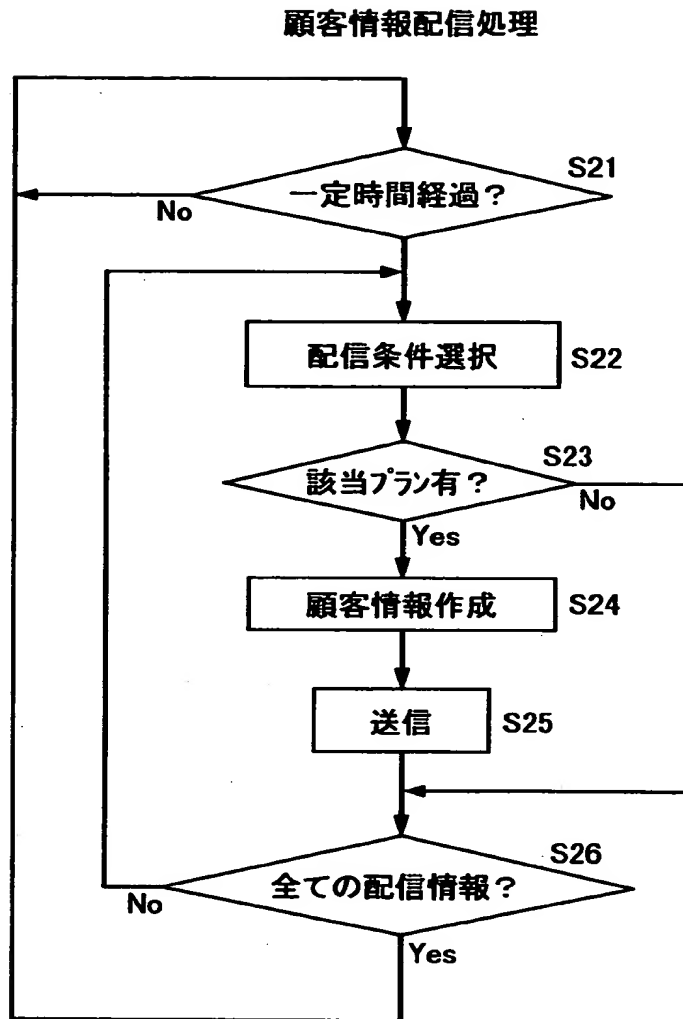


【図9】

代替スケジュール通知処理



【図 1 0】



【図 1 1】

個人情報登録画面例(ウェブページ)

個人情報登録(ユーザ登録)ページ

入力項目(*は必ず入力して下さい)

E-mailアドレス	*	taro@fujitsu.co.jp
登録者パスワード設定	*	taro
再確認	*	****
お名前	*	富士通 太郎
年齢・性別		28 <input checked="" type="checkbox"/> Male <input type="checkbox"/> female
職業		会社員
住所	*	富士通市1-1-1
電話		012-345-6789
お支払い方法		JCB ▼
カード番号		0123-4567-8910-1234
有効期限		08/2004

Cancel OK

【図12】

旅行申し込み画面例(ウェブページ)

旅行申し込みページ

旅行先

希望日程 年 月 日から
 年 月 日まで

検索結果(10件)

☒ 団体名:大阪歴史観光ツアー(定員 30名)
 日程:2000/1/1から1/3
 料金 お一人様〇万〇千円 [詳細スケジュール](#)

登録者ID

登録者パスワード

【図13】

広告登録画面例(ウェブページ)

広告登録ページ			
配信地域		大阪	
配信日時		2000 年 1 月 3 日から	2000 年 1 月 5 日まで
団体名: 大阪歴史観光ツアー(男性10名, 女性8名)			
日程: 2000/1/1から1/3			
詳細スケジュール			
広告のURLを指定する 他にファイルをアップロード させることも可能			
登録者ID		広告登録者にID,パスワード を発行しておくことも可能	
登録者パスワード			
広告URL			
コメント		広告配信のための 詳細設定をするため の設定ボタン	
中止		詳細設定	
		登録	

【図14】

配信条件の詳細設定画面例(ウェブページ)

詳細設定ページ

性別 男性 ☐ 女性 ☐

年齢 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐

職業 会社員 ☐ 自営業 ☐ 公務員 ☐ 学生等 ☐

家族 独身 ☐ 既婚 ☐ 子供 ☐

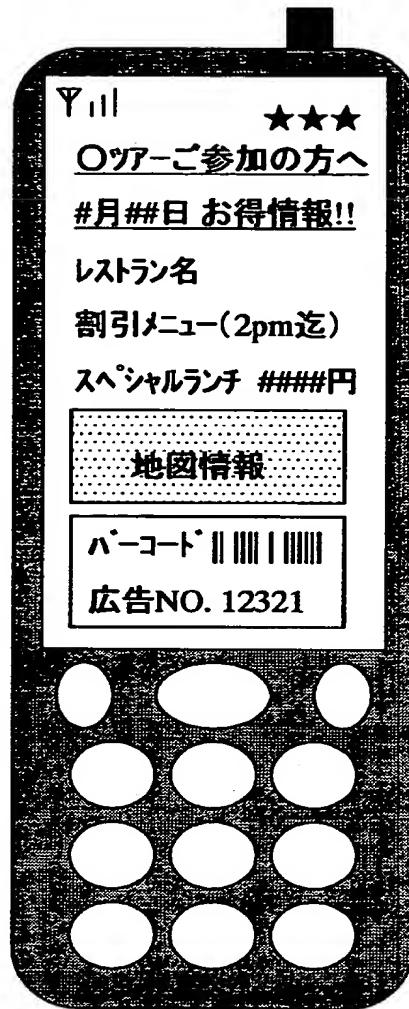
ツアー参加回数 1回 2回 3回以上

中止

設定

【図15】

旅行者端末における広告の表示例(携帯電話)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワーク上で購入されるサービスから容易に消費者の行動を予測し、予測した結果をマーケティングのために有効に活用する。

【解決手段】 お土産品店や飲食店などの広告者の端末 3 から、自分自身の商品の広告などを、旅行の手配などをする旅行業者の端末 1 に登録する。旅行業者端末 1 には、旅行者と旅行者の電子メールアドレスと旅行スケジュールとが対応付けて蓄積されている。旅行業者端末 1 は、各旅行者に対し、登録されている広告を、最適なタイミングで配信する。配信のタイミングは、旅行スケジュールを参照して決定する。例えば、大阪のお土産店に関する広告であれば、旅行者が大阪滞在中や大阪に移動する直前に、配信する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社